

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成20年10月9日(2008.10.9)

【公表番号】特表2005-522786(P2005-522786A)

【公表日】平成17年7月28日(2005.7.28)

【年通号数】公開・登録公報2005-029

【出願番号】特願2003-584957(P2003-584957)

【国際特許分類】

G 06 F 17/30 (2006.01)

G 06 F 13/00 (2006.01)

G 06 F 15/00 (2006.01)

【F I】

G 06 F 17/30 220C

G 06 F 17/30 110C

G 06 F 17/30 120B

G 06 F 13/00 520D

G 06 F 15/00 390

【誤訳訂正書】

【提出日】平成20年8月6日(2008.8.6)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ネットワークに接続された少なくとも1つのサーバと多数のピア・ノードとを含むアクセス制限されたリソース共有システムにおいて、2以上のプライベート・リソース・レポジトリにわたってリソースのサーチを実行する方法であって、データデジタル画像を始めるリソースを記憶し、且つ該リソースに関連するメタデータに基づいて該リソースをサーチするためのネットワークを該リソースは共有し、

リソース及び関連メタデータのストレージを各々のピア・ノードで維持する工程と、関連メタデータは、少なくとも1つのメタデータ・ボキャブラリに基づいていることと；

第1のピア・ノードが、サーバに、第1のピア・ノードに記憶された各々のリソースに関連するメタデータ・ボキャブラリと、プライベートのものとして指定された関連するメタデータ・ボキャブラリとを示す工程と；

前記サーバでの第2のピア・ノードからのサーチ・クエリに応じて、前記第1のピア・ノードによってサーバに示されたメタデータ・ボキャブラリをサーチ・クエリが使用するか否か、および使用されるメタデータ・ボキャブラリが前記第1のピア・ノードによってプライベートのものとして指定されたメタデータ・ボキャブラリの中にあるか否かを判定する工程；

第1のピア・ノードによって示されたメタデータ・ボキャブラリをサーチ・クエリが使用するが、前記第1のピア・ノードによってプライベートのものとして指定されたメタデータ・ボキャブラリの中にはないというサーバによる判定に応じて、サーバによりサーチ・クエリを処理する工程と；

第1のピア・ノードによって示されたメタデータ・ボキャブラリをサーチ・クエリが使用し、かつ前記第1のピア・ノードによってプライベートのものとして指定されたメタデータ・ボキャブラリの中にあるというサーバによる判定に応じて、処理のために第1のピ

ア・ノードにサーチ・クエリを渡すか、または第1のピア・ノードに対するロケータを備えた第2のピア・ノードにサーチ・クエリを渡す工程と；
から成る方法。

【請求項2】

特定のサーチ・クエリに応答して第1のピア・ノードによって生成された応答を、サーバを通じて、第2のピア・ノードへ経路指定する工程を含む、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

特定のサーチ・クエリに応答して第1のピア・ノードによって生成された応答を、サーバを通さずに、第2のピア・ノードへ直接経路指定する工程を含む、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

第1のピア・ノードに対するロケータを使用して、第1のピア・ノードに前記クエリを送ること；

第1のピア・ノード上での前記クエリの受け取りに応じて、マッチを求めて第1のピア・ノード上の記憶されたメタデータをサーチすること；及び

前記クエリにマッチするメタデータを有するリソースに対するリソース・ロケータを、第2のピア・ノードに返すこと；

を含む、請求項1に記載の方法。

【請求項5】

第1のピア・ノードが第2のピア・ノードにサーチ結果を直接送れるように、第2のピア・ノードに対するロケータと共に第1のピア・ノードにサーチ・クエリを送ることを含む、請求項1に記載の方法。

【請求項6】

第1のピア・ノードから送られた応答を暗号化する工程を含む、請求項1に記載の方法。

【請求項7】

第2のピア・ノードに関連する公開鍵を使用して、応答を暗号化する工程を含む、請求項6に記載の方法。

【請求項8】

ネットワークに接続された少なくとも1つのサーバと多数のピア・ノードとを含むアクセス制限されたリソース共有システムにおいて、2以上のプライベート・リソース・レポジトリにわたってリソースのサーチを実行する方法であって、データデジタル画像を始めとするリソースを記憶し、該リソースに関連するメタデータに基づいて該リソースをサーチするためのネットワークを該リソースは共有し、

リソース及び関連メタデータのストレージを各々のピア・ノードで維持する工程と、関連メタデータは、少なくとも1つのメタデータ・ボキャブラリに基づいていること；

第1のピア・ノードが、サーバに、第1のピア・ノードに記憶された各々のリソースに関連するメタデータ・ボキャブラリと、プライベートのものとして指定された関連するメタデータ・ボキャブラリとを示す工程と；

第2のピア・ノードからリソースに対するサーチ・クエリをサーバ上で受け取る工程と、

サーチ・クエリは1又は複数のメタデータ・ボキャブラリをその中で使用していること；

前記第1のピア・ノードによってサーバに示されたメタデータ・ボキャブラリをサーチ・クエリが使用するか否か、および使用されるメタデータ・ボキャブラリが前記第1のピア・ノードによってプライベートのものとして指定されたメタデータ・ボキャブラリの中にあるか否かを判定する工程と；

サーチ・クエリ中で使用されるメタデータ・ボキャブラリが前記第1のピア・ノードによってプライベートのものとして指定されたメタデータ・ボキャブラリの中にある場合に、第1のピア・ノード上でサーチ・クエリを実行する工程であって、サーチ・クエリの実

行は、サーチ・クエリとマッチするリソースに対するリソース・ロケータのリストを生成することと；

サーチ・クエリ中で使用されるメタデータ・ボキャブラリが第1のピア・ノードによって示されたメタデータ・ボキャブラリ内に含まれるが第1のピア・ノードによってプライベートのものとして指定されたメタデータ・ボキャブラリの中にはない場合に、サーバ上でサーチ・クエリを実行する工程であって、サーチ・クエリの実行後、サーバは、サーチ・クエリとマッチするリソースに対するリソース・ロケータのリストを第2のピア・ノードに送ることと；

から成る方法。

【請求項9】

第1のピア・ノードから送られた応答を暗号化する工程を含む、請求項8に記載の方法。

【請求項10】

第2のピア・ノードに関連する公開鍵を使用して、応答を暗号化する工程を含む、請求項9に記載の方法。

【請求項11】

前記処理は、サーチ基準とマッチする前記画像に対する画像ロケータのリストを作成することである、請求項1に記載の方法。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0007

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0007】

本発明は、アクセス制限されたリソース共有システムにおいて、2以上のプライベート・リソース・レポジトリにわたってリソースのサーチを実行する方法である。システムは、ネットワークに接続された、少なくとも1つのサーバノードと多数のピア・ノードとを含んでいる。データデジタル画像を始めとするリソースが、リソースに関連するメタデータとマッチするタームを含むクエリの発行により基づいて、ノードからサーチされる。方法は、リソース及び関連メタデータのストレージを、各々のピア・ノードに維持する工程を含む。関連メタデータは少なくとも1つのメタデータ・ボキャブラリに基づいている。

第1のピア・ノードが、サーバに、第1のピア・ノードに記憶された各々のリソースに関連するメタデータ・ボキャブラリと、プライベートのものとして指定された関連するメタデータ・ボキャブラリとを示す。サーバでの第2のピア・ノードからのサーチ・クエリに応じて、第1のピア・ノードによってサーバに示されたメタデータ・ボキャブラリをサーチ・クエリが使用するか否か、および使用されるメタデータ・ボキャブラリが第1のピア・ノードによってプライベートのものとして指定されたメタデータ・ボキャブラリの中にあるか否かを判定する。第1のピア・ノードによって示されたメタデータ・ボキャブラリをサーチ・クエリが使用するが、第1のピア・ノードによってプライベートのものとして指定されたメタデータ・ボキャブラリの中にはないというサーバによる判定に応じて、サーバによりサーチ・クエリを処理する。第1のピア・ノードによって示されたメタデータ・ボキャブラリをサーチ・クエリが使用し、かつ第1のピア・ノードによってプライベートのものとして指定されたメタデータ・ボキャブラリの中にあるというサーバによる判定に応じて、処理のために第1のピア・ノードにサーチ・クエリを渡すか、または第1のピア・ノードに対するロケータを備えた第2のピア・ノードにサーチ・クエリを渡す。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0043

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0043】

ステップ220で、ピア・サーバ14は、プライベート・メタデータ22をサポートすることを示し、且つボキャブラリ84がピア・サーバ14に識別されていない、すべてのピア・ノード・レコードの位置を特定する。ピア・サーバ14は、サーチ・クエリ中にあるプロパティとマッチするプロパティを含むボキャブラリ84を有するピア・ノード16に対するレコードを見つけた場合、ステップ218で、ピア・サーバ14はそれらのピア・ノード16の各々をポイントする各ピア・ノード・ロケータを作成し、クエリをそのピア・ノード・ロケータ中に埋め込む。